

もくじ

1. 安全上のご注意	
安全上のご注意	2～3
2. 取付・設置上のお願	3
3. 工具及び付属部品の確認	4
4. 取付・設置の事前確認	
(1) 床面・壁面の仕上げの確認及び強度確認	4
(2) 電源取り出し位置の確認	5
工事区分	5
5. 取付・設置手順	
(1) キャビネットの配置	6
(2) キャビネットの取付	6
①キャビネットどうしの連結	6
②キッチン本体との固定	6～7
(3) ワークトップの取付	8
(4) 上部ユニットの取付	9
(5) カウンターの取付	9～10
(6) サイドパネルの取付	10～11
(7) キッチンパネルの取付	11
(8) 防熱板の取付	11
(9) コンセント付キャビネットの配線工事	12
(10) 扉の調整方法	13
(11) 棚板の取付け、取外し	14
(12) 扉の調整方法	15
(13) ワークフロント収納のシール	15
6. 仕上げ	
(1) 清掃	16
7. 点検	
(1) 安全点検	16
8. 完了後の処置	
(1) 商品の養生について	16
(2) 取扱説明書の保管・引渡し方法	16
9. 残材処理	
(1) 梱包材その他残材の処置	16

取付・設置をされる方へのお願い

- 取付・設置をされる方の安全と使用者の安全確保のため、この取付・設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- 本説明書はリビングボードのものです。その他のキャビネットはそれぞれに添付する取付・設置説明書をご覧ください、正しい設置を行ってください。
- この取付・設置説明書に記載されていない方法で設置され、それが原因で故障等を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 設置完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

1. 安全上のご注意

- 取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 表示内容を見逃して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。

 **注意** この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

警 告

キャビネットの設置は、背面の補強構造を確かめて取付・設置説明書どおりに正しく行う。



製品が倒れて、けがをするおそれがあります。

キャビネットの固定は付属の取付ネジ（コーススレッドΦ4.2×65）をワッシャーに通し、背面の穴よりキャビネットに確実に固定し、指定位置以外に固定しない。



指定位置以外に固定すると製品が倒れて、けがをするおそれがあります。

キッチンに組み込まれる電気機器・換気フード等については、それぞれの取付・設置説明書及び製品本体の表示項目を守り、正しく設置する。



思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

製品固定ネジを空転するまで無理に締め込まない。



製品が倒れて、けがをするおそれがあります。

製品は水平で平滑な床面にしっかりと固定する。



製品が倒れて、けがをするおそれがあります。

電気工事は関連する法令、規程にしたがって、必ず「有資格者」が行う。



感電のおそれがあります。



1. 安全上のご注意（続き）

⚠ 注 意

製品取付位置の背面には、固定できる補強があることを確認する。



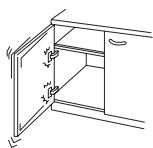
製品が倒れて、けがをするおそれがあります。

絶対に分解したり、修理・改造したりしない。



製品が倒れて、けがをするおそれがあります。

取付・設置完了後は、扉のがたつきやゆるみのないことを必ず確認する。



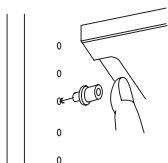
使用中に扉が落下して、けがをするおそれがあります。

キャビネットに乗らない。



製品が変形したり、落下してけがをするおそれがあります。

棚板を設置する時は、棚受けをすきまのないよう根元まで確実に差し込む。

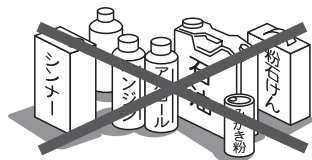


棚板がはずれ収納物が落下して、けがをするおそれがあります。

2. 取付・設置上のお願い

お 願 い

清掃時には台所用中性洗剤を使用してください。



その他の洗剤及びベンジン・シンナー等の溶剤やみがき粉の使用は、製品の変色・変質の原因になります。

ワークフロントのステンレス部分に水がかかった時は、すぐに拭き取ってください。

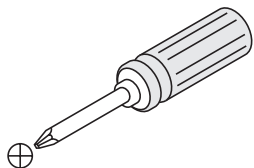


製品の変色の原因になります。

3. 工具及び付属品の確認

<取付・設置に必要な工具>

● プラスドライバー



● 充電ドライバー（電気）



● L型アダプター



<付属部品>

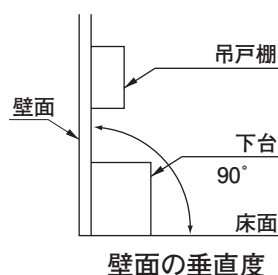
● ワークフロント収納には下記の部品が梱包されています。
不足品のないことを確認してください。

部品名	ワークフロント			
	上部ユニット	下部ユニット	コンロ裏ユニット	オープン棚
	JKCULBPU -180/165	JKCUSLBF -90/75	JKCULBPGF -90	JKCUSLBFE -90
樹脂ワッシャー	16個	—	—	—
化粧キャップ(グレー)	16個	—	—	—
化粧キャップ(ホワイト)	16個	10個	8個	6個
コーススレッドφ4.2×65	—	2本	—	—
コーススレッドφ3.8×28	16本	8本	8本	6本
サラモクネジφ3.1×38	2本	2本	—	—
サラタッピンネジφ3.5×30	—	4本	—	—
サラタッピンネジφ3.3×45	—	2本	2本	—
トラスタッピンネジφ3.5×16	—	8本	8本	8本
M4ワッシャー(金属)	—	10個	8個	6個
ふきん掛け	1個	—	—	—
ふきん掛け取付具	2個	—	—	—
ふきん掛け注意ラベル	1枚	—	—	—
アルミジョイナー L=270	—	—	2枚	—
L金具 25×25	—	2個	2個	2個
棚板	—	1枚	1枚	1枚
棚受け	—	4個	4個	4個
セイタコマ	—	2個	—	—
使用上のお願いラベル	1枚	—	—	—

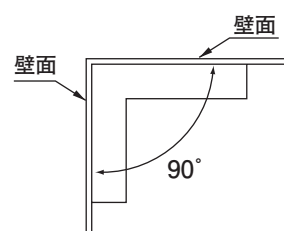
4. 取付・設置の事前確認

(1) 床面・壁面の仕上げの確認及び強度確認

- 製品搬入前に床面を仕上げておいてください。
- 床面に対して壁面を垂直に仕上げてください。
- 壁面コーナー部を直角に仕上げてください。
- 床面は製品の荷重に耐えられ、水平で平滑に仕上げてください。



壁面の垂直度

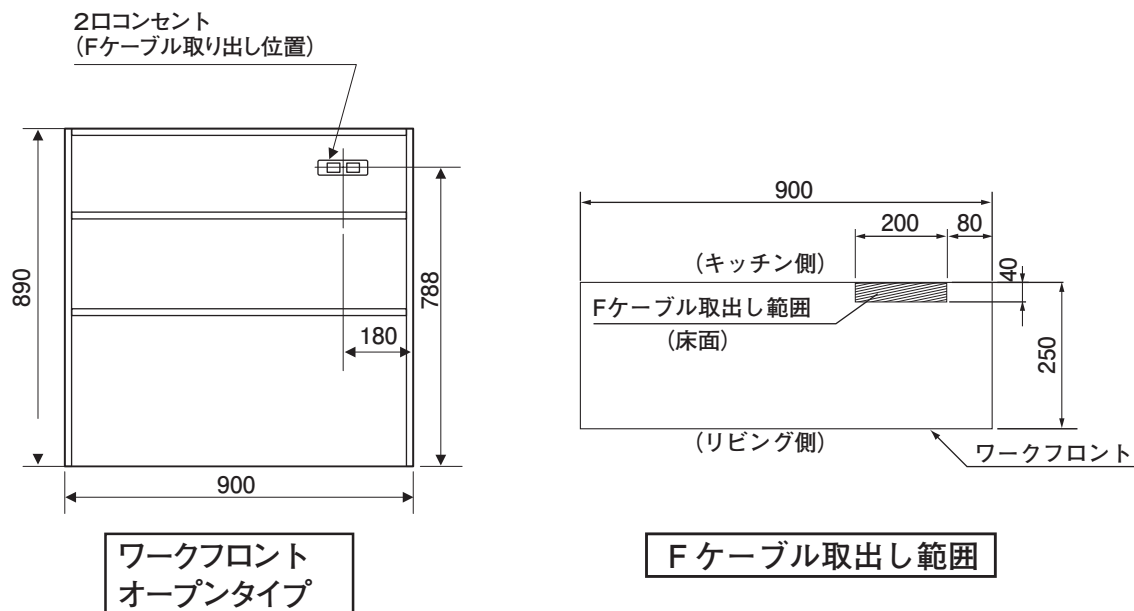


壁面コーナーの直角度

4. 取付・設置の事前確認（続き）

（2）電源取り出し位置の確認

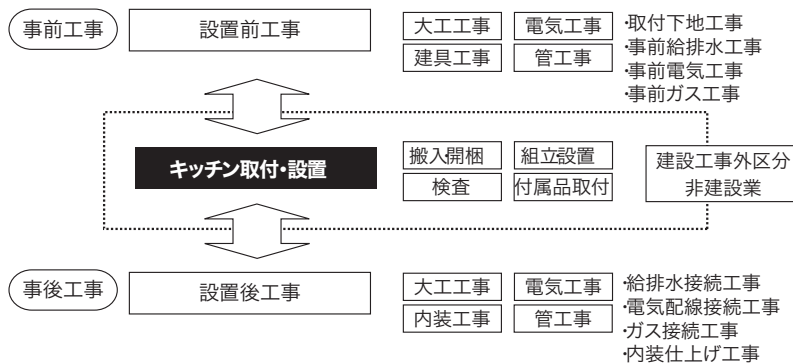
- コンセント付キャビネットの背面にはFケーブル（芯線 $\phi 1.6 \sim 2.0$ ）を下図の位置に取り出しておいてください。



工事区分

⚠ 警告

◎ 本説明書は、システムキッチンの本体取付・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事、管工事（給排水）、建具工事などと区別して説明しています。
建設工事は関連する法令・規定に従って、法的有資格者による工事が必要になります。
流通業者様（販売店様など）からの発注で下請けとして「本体の取付・設置」を行う場合は、建設工事部分と「システムキッチン本体取付・設置」を区別して行ってください。



5. 取付・設置手順

(1) キャビネットの配置

- 設置する床面の木くず、ゴミを取り除いてからキャビネットを並べます。
- 水平器を使用してキャビネットの水平が出ているか確認してください。
水平が出ていない場合はキャビネットと床の間に付属のスペーサー等を入れて水平を出します。

⚠ 警告

- 製品は、水平で平滑な床面にしっかりと固定する。

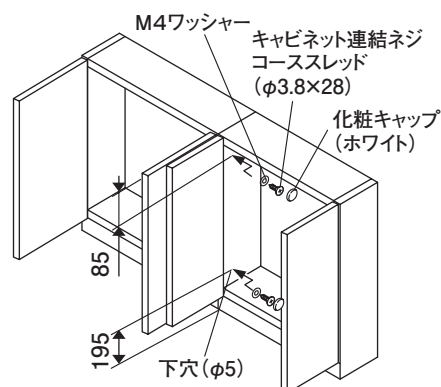
製品が倒れて、けがをするおそれがあります。



(2) キャビネットの取付

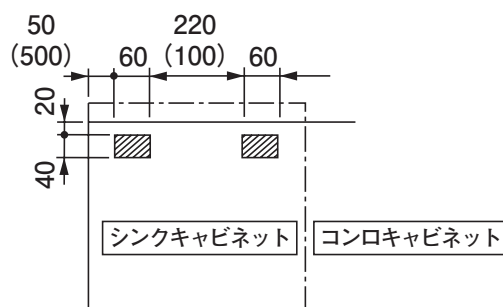
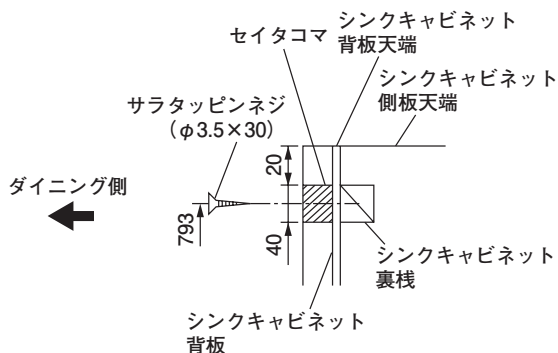
① コンロ裏キャビネット及び下部ユニットどうしの連結

- キャビネット側板に下穴2ヶ所（右図参照）をあけ、キャビネット連結ネジ（コーススレッドΦ 3.8×28）とM4ワッシャー（金属）で隣のキャビネットと連結してください。
オープンタイプを設置する場合は、隣接するキャビネットの内側より連結してください。
- 固定後ワッシャーに化粧キャップ（ホワイト）を取り付けてください。



② キッチン本体との固定

- シンクキャビネット、または調理キャビネット（引出し奥行き 55cm）と固定する際は付属のセイタコマをサラタッピンネジ（Φ 3.5×30）でシンクキャビネットの背面に取付け、下部ユニットの背板にあけられている下穴を使ってキッチン本体へコーススレッド（Φ 4.2×65）とM4ワッシャー（金属）で固定し、化粧キャップ（ホワイト）を取り付けてください。

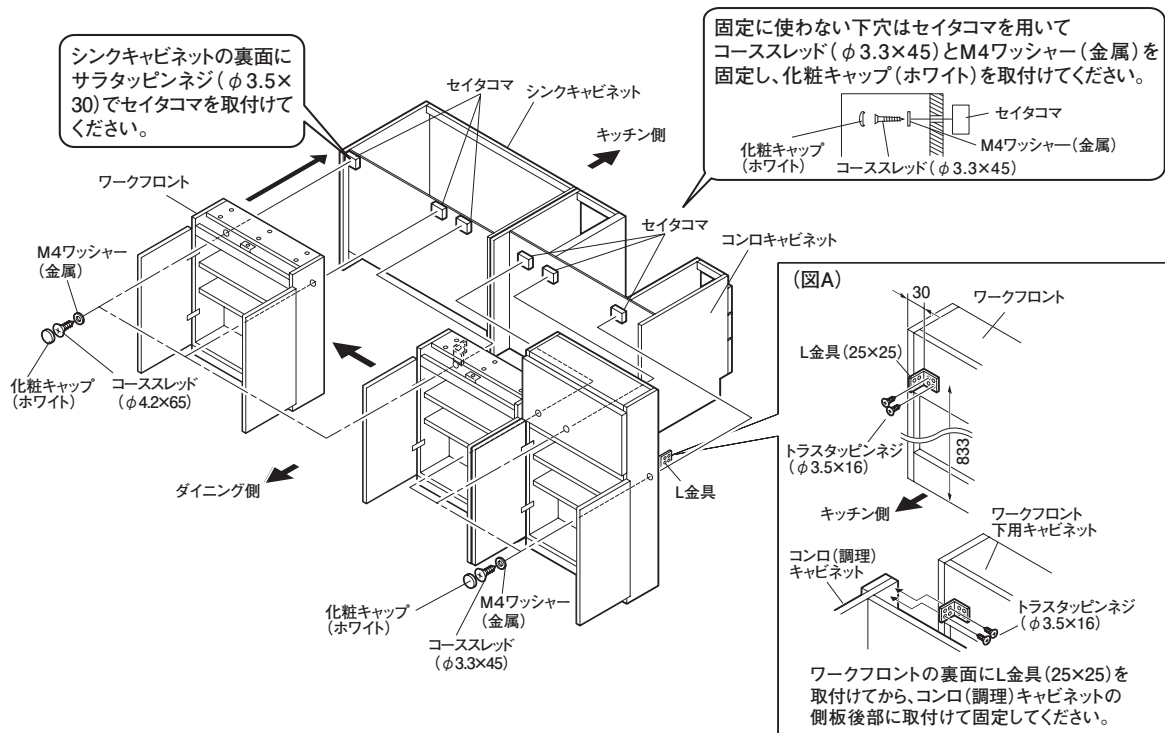


※ () 内寸法は、端置き用食洗機
キャビネット設置時の寸法

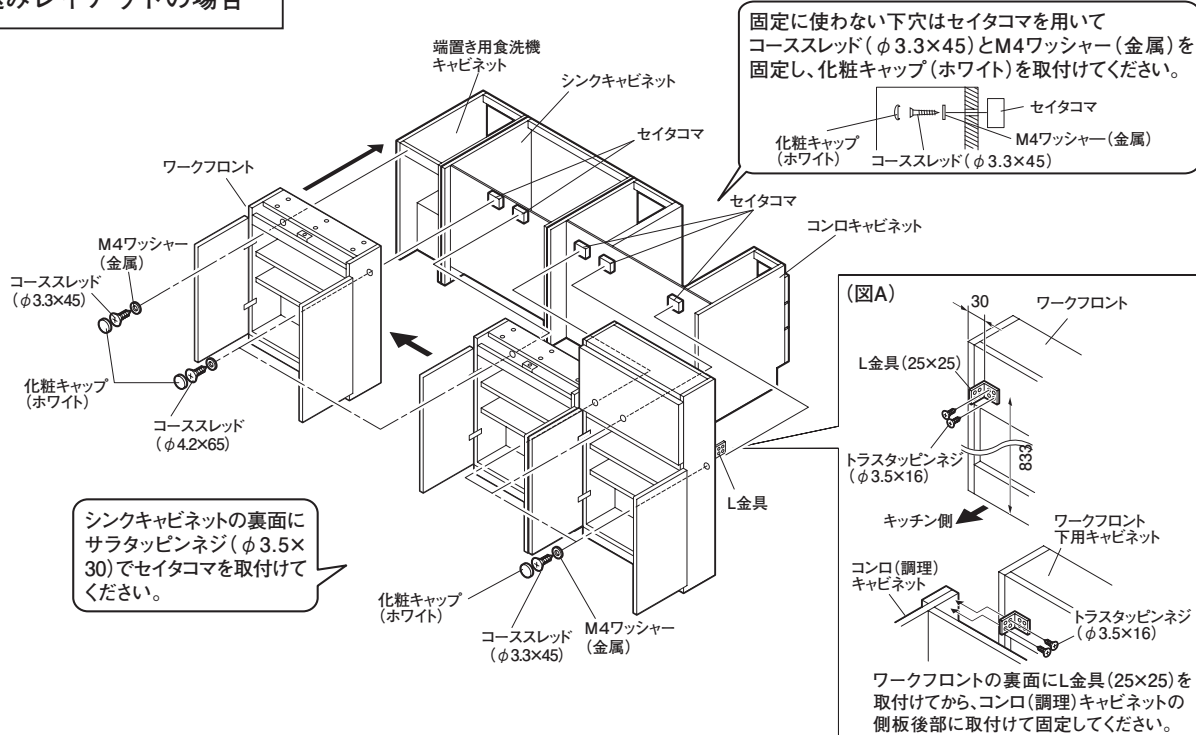
5. 取付・設置手順（続き）

(2) キャビネットの取付（続き）

- コンロキャビネット又は調理キャビネットと固定するには、コンロ裏キャビネットの裏面にトラスタッピンネジ（ $\Phi 3.5 \times 16$ ）でL金具（ 25×25 ）を取付けてください。
コンロキャビネット又は調理キャビネットの側板後部に、コンロ裏キャビネットに取付けたL金具（ 25×25 ）より、トラスタッピンネジ（ $\Phi 3.5 \times 16$ ）で固定してください（図A）。
- 端置き用食洗機キャビネット組み込みの際には、下部ユニットにあけられている下穴を使ってキッチン本体へコーススレッド（ $\Phi 3.3 \times 45$ ）とM4ワッシャー（金属）にて固定し、化粧キャップ（ホワイト）を取り付けてください。



端置き用食洗機キャビネット 組み込みレイアウトの場合



5. 取付・設置手順（続き）

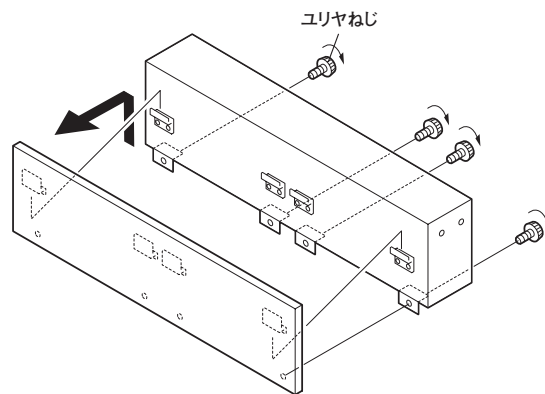
（3）ワークトップの取付

- ワークトップの取付方法は、ベースキャビネットの取付・設置説明書をご覧ください。

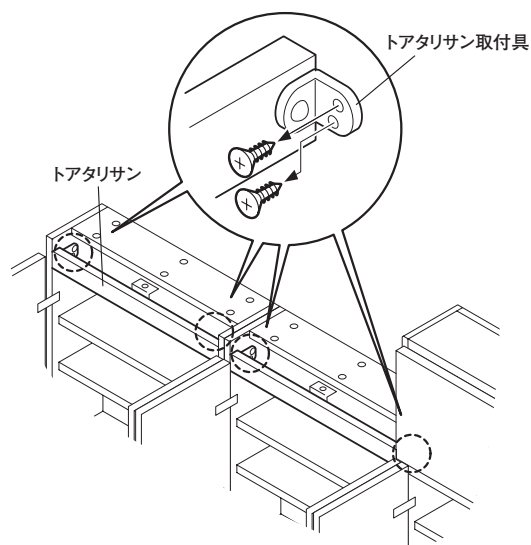
（4）上部ユニットの取付

- 下部ユニットへの取付・設置

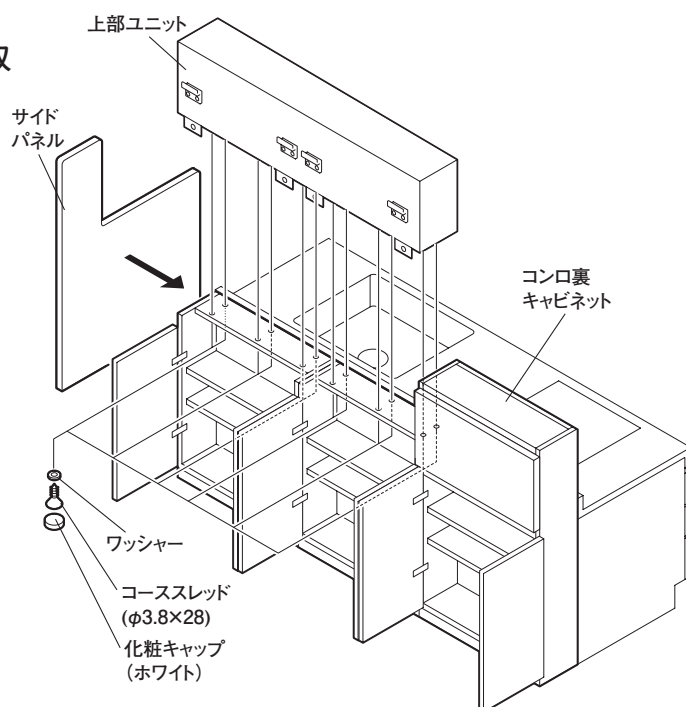
- ① ユリヤねじ（4ヶ所）を取り外し、扉を上側へ持ち上げてFIX扉を取り外してください。



- ② 下部ユニット内のトアタリサン取付具のねじを外し、トアタリサンを取り外してください。

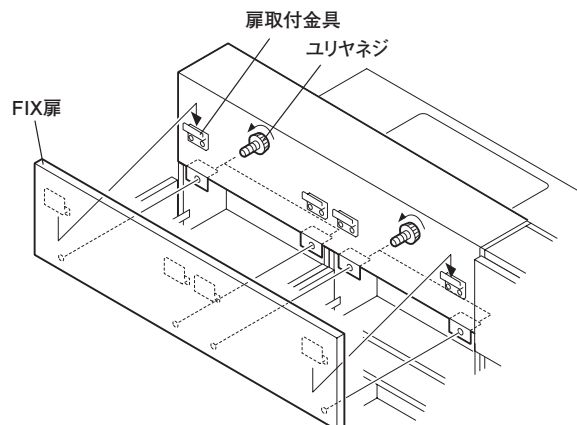


- ③ 上部ユニットを下部ユニットの上に設置し、コーススレッド（ $\Phi 3.8 \times 28$ ）とM4ワッシャーで固定してください。固定後、化粧キャップ（ホワイト）を取り付けてください。



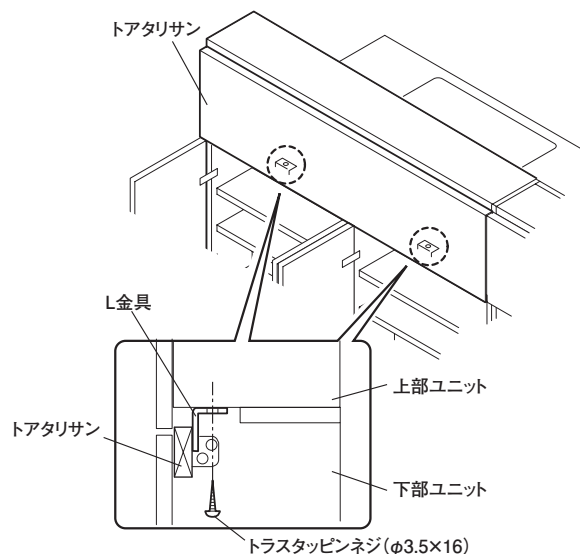
5. 取付・設置手順（続き）

- ④ ①で外した FIX 扉裏面の金具を、上部ユニットに取り付けてある金具に引っ掛け、ユリヤねじを取り付けてください。



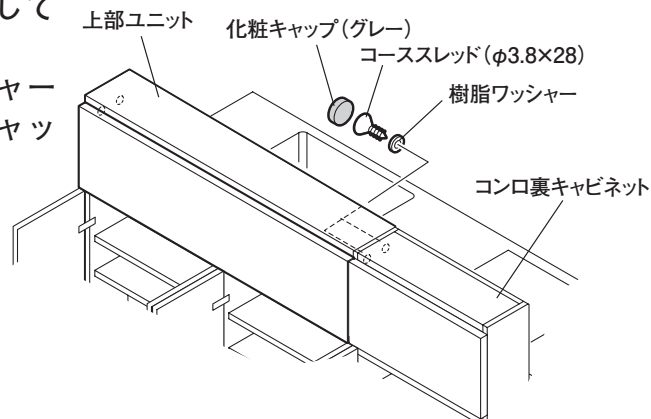
- ⑤ ②で予め取り外したトアタリサンを下部ユニットに取り付けてください

- ⑥ 下部ユニットのトアタリサン裏中央に取付けてある L 金具の下穴を使って、トラスタッピンネジ (Φ 3.5 × 16) で、上部ユニット底面に固定してください。



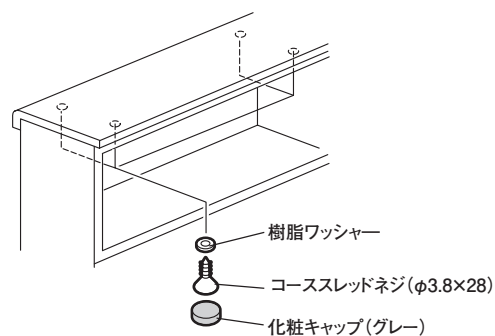
● 上部ユニットとコンロ裏キャビネットの連結

- ① 上部ユニット内側の保護フィルムをはがしてください。
- ② コーススレッド (Φ 3.8 × 28) と樹脂ワッシャーにて上部ユニット内側より固定し、化粧キャップ (グレー) を取り付けてください。



(5) カウンターの取付

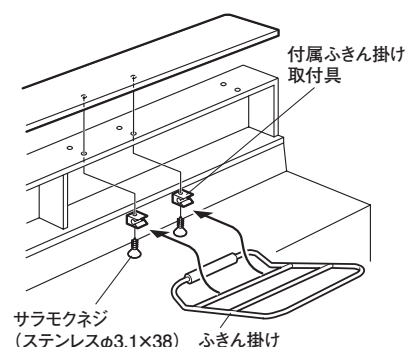
- ① 天板の下穴を使って、コーススレッドネジ (Φ 3.8 × 28) と樹脂ワッシャーでカウンターと固定してください。
固定後、化粧キャップ (グレー) を取り付けてください。
- ② コンロ裏キャビネット内側よりコーススレッド (Φ 3.8 × 28) と M4 ワッシャーで固定し、化粧キャップ (ホワイト) で取り付けてください。



5. 取付・設置手順（続き）

- ③ 上部ユニットに付属のふきん掛け取付具を天板の下穴の内手前側2ヶ所を使ってにサラムクネジ（Φ 3.1 × 38）でカウンターに固定しふきん掛けを取り付けてください。

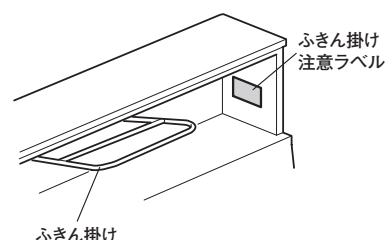
取付用穴は左右にあります。水栓にあたらない側に取付けてください。ふきん掛けを取付しない側の穴は①の要領でカウンター取付に使用します。



- ④ ステンレス部分の保護フィルムを剥がし、付属のふきん掛け注意ラベル（下記）をシンク側側板に貼り付けてください。

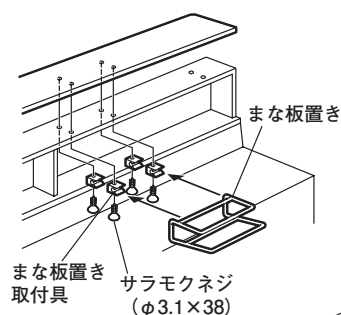
注意	変形・破損のおそれあり。	
		●ふきん掛けに3kgf以上の力を加えない。 ●ふきん掛け以外の用途に使用しない。

L34Z0113KG



まな板置き（別売り）を取り付ける場合

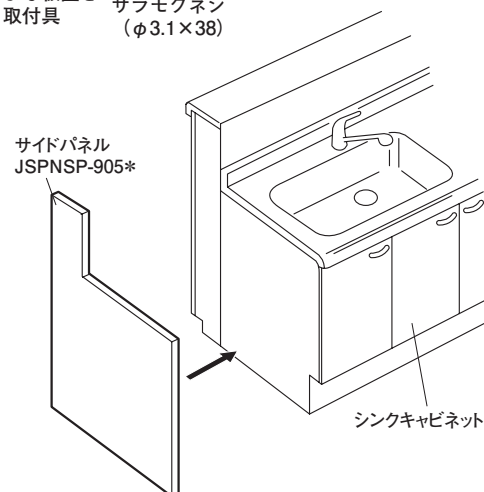
- ⑤ 付属のまな板置き取付具を天板の下穴のうち手前側2ヶ所、うしろ2ヶ所を使ってサラムクネジ（Φ 3.1 × 38）でカウンターに固定し、まな板置きを取り付けてください



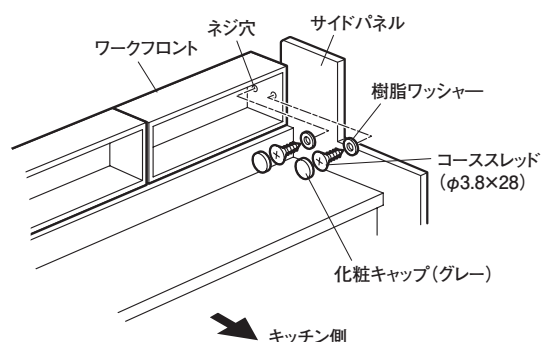
（6）サイドパネルの取付

●シンク側サイドパネルの取付け

- ① サイドパネル JSPNSP-905 *（別売品）を側面に取付けてください。
（サイドパネルの取付け方法は、サイドパネル取付・設置説明書をご覧ください。）

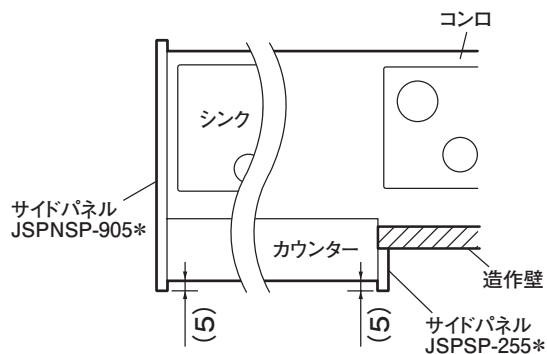


- ② 上部ユニットとの固定はキッチン側収納スペースから側板のネジ穴を使って、コーススレッド（Φ 3.8 × 28）と樹脂ワッシャーでサイドパネルを固定し、化粧キャップ（グレー）を取付けてください。



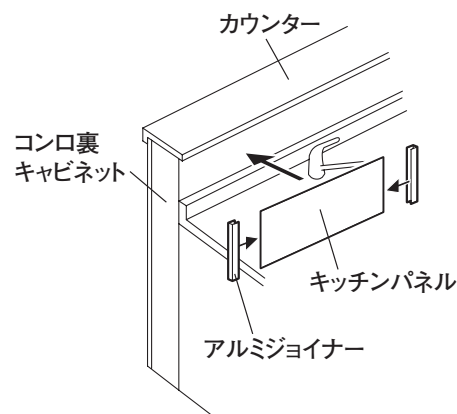
5. 取付・設置手順（続き）

- サイドパネルの取り付け（コンロ裏造作壁の場合）
コンロ裏が造作壁の場合はサイドパネル JSPSP-255 *（別売品）を側面に取付けてください。
（サイドパネルの取付け方法は、サイドパネル取付・設置説明書をご覧ください。）
※ カウンターからの出代がサイドパネル JSPNSP-905*に合うようにカットしてください。



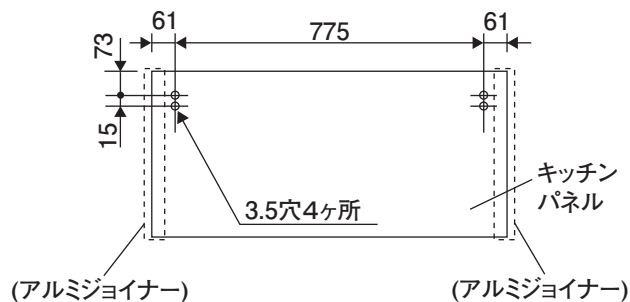
（7）キッチンパネルの取付

- ① ワークトップのバックガード上端からカウンター下端の高さに併せて、キッチンパネル KGU-902 *（別売品）と付属のアルミジョイナーをカットしてください。
- ② コンロ裏キャビネットの背板へキッチンパネルとアルミジョイナーを取り付けてください。
（キッチンパネルの取付方法は、キッチンパネル取付・設置説明書をご覧ください。）



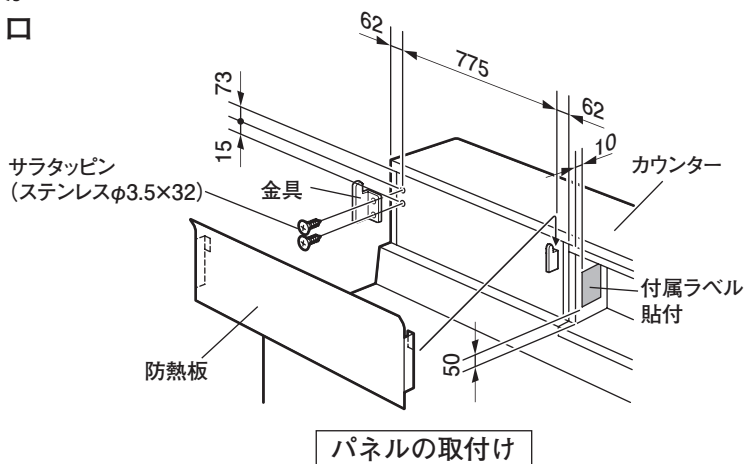
（8）防熱板の取付

- ① コンロ裏キャビネットのキッチンパネルに下穴4ヶ所（右図）参照をあげ、防熱板 KMB-803S（別売品）に付属の金具を取付け、金具のツメに防熱板を掛けます。



- ② ステンレス部分の保護フィルムを剥がし、付属の注意ラベル（下記）をコンロ側側板に貼り付けてください。

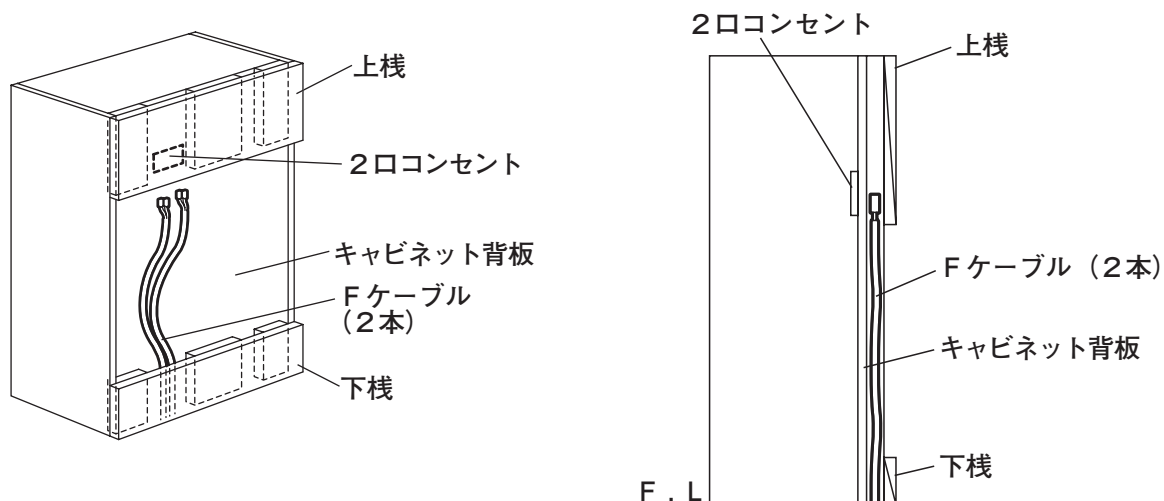
使用上のお願い
ワークフロント収納のさび・きず・変色・変質を防ぐために
● 熱いフライパンや鍋を直接カウンターに置かないでください
● 缶などの鉄製のものをステンレス部分に放置しないでください
● しょうゆや味噌などの塩分のあるものが付着したらすぐに拭き取ってください
● ステンレスに付いた水滴は使用后拭き取ってください
● ステンレス部分に直接水をかけないでください
● 金属タワシや粒子の粗いクレンザーで擦らないでください
● 塩素系洗剤を使用したり、置かないでください



5. 取付・設置手順（続き）

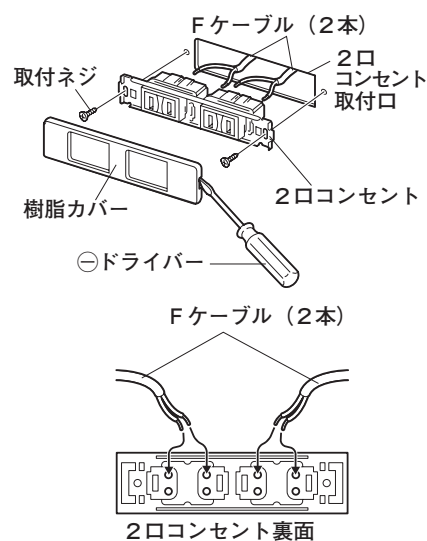
（9）コンセント付キャビネットの配線工事

- ① 床面より立ち上げた2本のFケーブルをキャビネット背板と下棧の間に通してください。
さらに、2本のFケーブルをキャビネット背板と上棧の間を通し、2口コンセント部まで垂直に立ち上げてください。



- ② キャビネットの背板に付いている2口コンセントの樹脂カバーを左右の溝にマイナスドライバーを差し込み手前に倒して外します。
- ③ 取付枠左右の取付ネジを外し、2口コンセントを背板から取り外してください。
- ④ 2口コンセント取付口よりFケーブル（2本）をキャビネット内に引き込み、2口コンセントに接続してください。
- ・ Fケーブルは芯線がΦ 1.6 のものをお使いください。
 - ・ Fケーブルの接続コードの被服の剥く長さを、2口コンセントに付いているストリップゲージに合わせ（13mm）、被覆を剥いてください。
 - ・ Fケーブル（2本）の芯線を2口コンセントに確実に差し込みます。
- ⑤ 配線工事完了後、2口コンセントを上記で取り外したネジを使ってキャビネットの背板に固定し、樹脂カバーを取付けてください。

事後工事



⚠ 警告

- 配線工事は関連する法令、規定に従って、必ず「有資格者」が行う。
- 電源は必ず定格 15 A 以上のものを単独で使用する。

接続や固定が不完全な場合や、定格以下のものを使用すると発煙や火災の原因になります。



5. 取付・設置手順（続き）

(10) 扉の調整方法

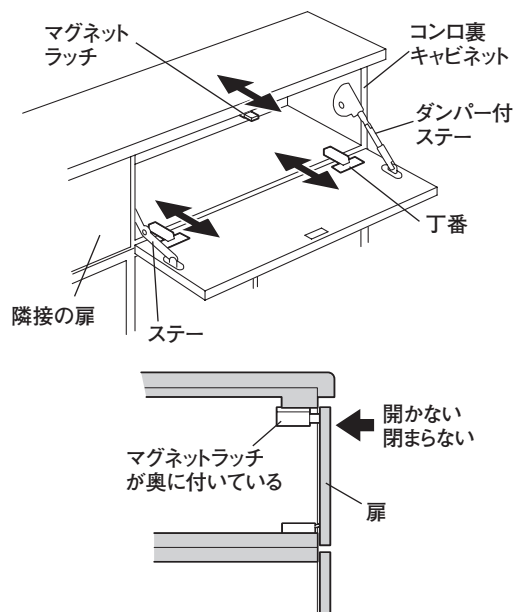
● コンロ裏キャビネットのフラップ扉の調整

コンロ裏キャビネットの扉が隣接する扉と揃うように、丁番とマグネットラッチの前後調整をしてください。

マグネットラッチを極端に奥側で固定すると扉が開かない、又は閉まらなくなります。

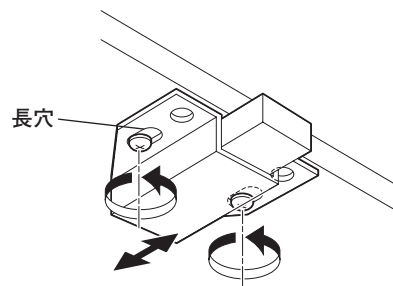
その場合は少し手前にしてください。

調整後、コンロ裏キャビネットに付属のマルモクネジ (Φ 3.0 × 12) にてマグネットラッチ本体の丸穴を固定してください。



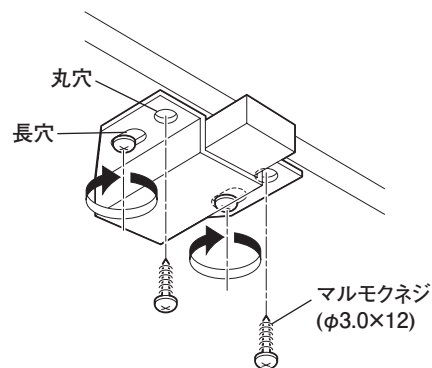
<マグネットラッチの調整>

① 長穴のビスを緩めて前後に調整してください。



② 長穴のビスをしめて固定してください。

さらに、コンロ裏キャビネットに付属のマルモクネジ (Φ 3.0 × 12) を丸穴に固定してください。



5. 取付・設置手順（続き）

(11) 棚板の取付け、取外し

- 棚板の取付け、取外しは、以下の要領で行ってください。製品によっては高さを変えられない機種や棚受けの形状が異なる機種もあります。

取外し方法（図-1）

棚板を上方向に持ち上げて、取り外してから、左右で計4ヶ所の棚受けを矢印の方向に引抜いてください。プルダウンラック付吊戸棚の場合は、棚受け前部のツメを外してから棚板を外してください。

取付け方法（図-2）

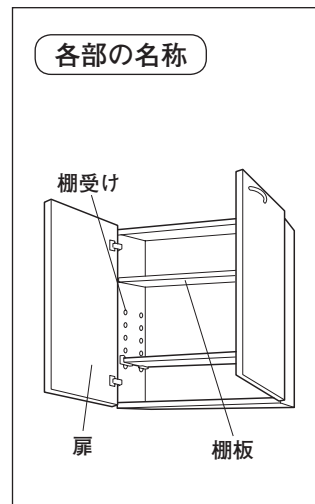
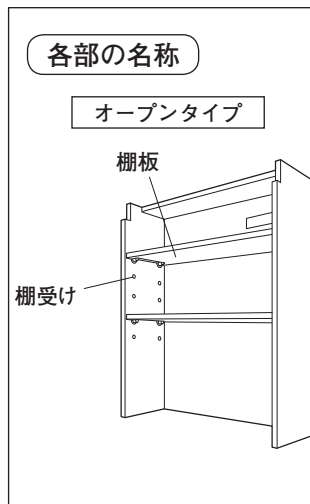
左右で計4ヶ所の棚受けを希望の高さに合わせ、矢印の方向に押し込んでから、棚板を載せてください。

⚠ 注 意

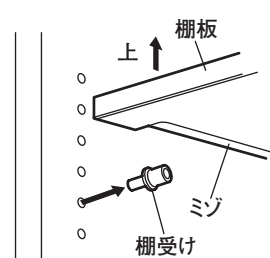
- 棚受けは、4ヶ所同じ高さにセットする。



棚板が安定せず、外れて上の収納物が落下して、けがをするおそれがあります。

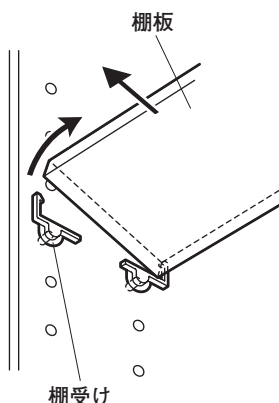


■図-1

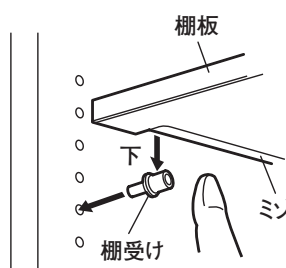


■図-1

プルダウンラック付吊戸棚

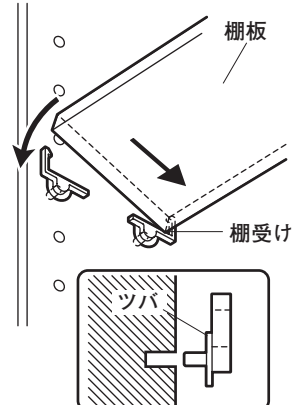


■図-2



■図-2

プルダウンラック付吊戸棚



棚受けにはツバがついています。棚板は棚受けが抜けないようにツバを挟み込んで固定してください。

棚受けにはツバがついています。棚板は棚受けが抜けないようにツバを挟み込んで固定してください。

5. 取付・設置手順（続き）

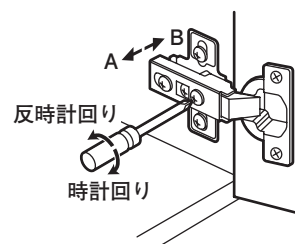
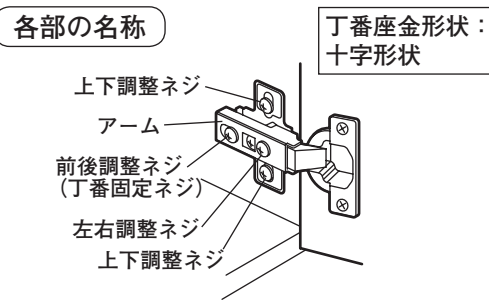
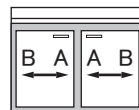
(12) 扉の調整方法

① 開き扉の調整

● 左右傾きの調整をする場合（図-1）

左右調整ネジを回すだけで調整が行えます。左右調整ネジを時計回りに回すと扉がB方向に動き、反時計回りに回すと扉がA方向に動きます。ヒンジの左右調整ネジの高さに注意してください。左右調整ネジを右へ回しすぎるとネジが突き出てダンパーが取り付けられなかったり、付けても外れやすくなります。

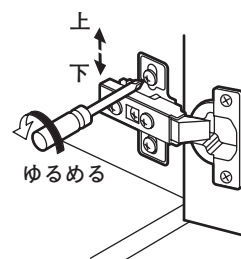
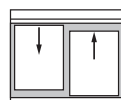
※ 調整は必ず±2mm までとしてください。



(図-1)

● 上下の調整をする場合（図-2）

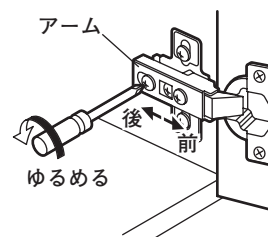
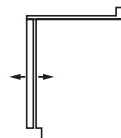
上下調整ネジをゆるめます。扉を上下に動かし扉の調整をします。調整後はネジをしっかりと締め付けてください。



(図-2)

● 前後の調整をする場合（図-3）

前後調整ネジをゆるめます。アームを前後に動かし扉の調整をします。調整後はネジをしっかりと締め付けてください。



(図-3)

⚠ 注意

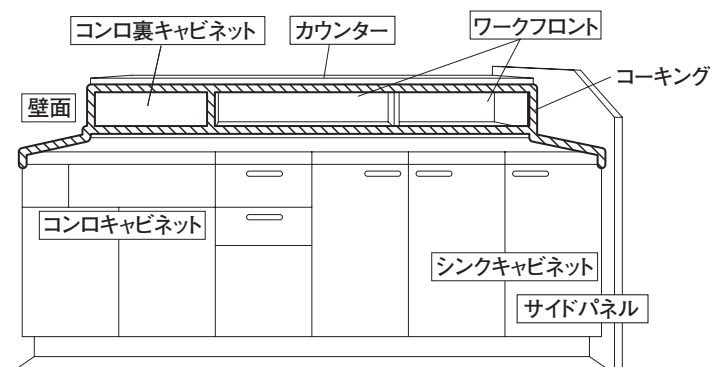
- 取付・設置完了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する。

扉が落下して、けがをするおそれがあります。



(13) ワークフロント収納のシール

- ワークフロント収納の場合は右図の斜線部分を必ずコーキングしてください。



6. 仕上げ

(1) 清掃

- ちょっとした汚れは、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- 汚れのひどいときは、中性洗剤をスポンジ柔らかい布に含ませて軽く拭いた後、水拭きしてください。水拭き後は、必ず乾いた布で水分を拭きとってください。

お 願 い

清掃をする場合は台所中性洗剤を使用してください。

その他の洗剤及びベンジン・シンナー等の溶剤やみがき粉の使用は、製品の変色・変質の原因になります。



ステンレスボックスに水がかかった際はすぐに拭き取ってください。

製品の変色の原因になります。



7. 点検

(1) 安全点検

- ・ 取付・設置完了後、必ず各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

8. 完了後の処置

(1) 商品の養生について

- ・ 製品および組込機器などは、お引渡しまでの間、キズや汚れがつかないように覆いをしてください。

(2) 取扱説明書の保管・引渡し方法

- ・ 製品および組込機器等の取扱説明書は、とりまとめて保管し、お引渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

9. 残材処理

(1) 梱包材その他残材の処置

- ・ 不要部材を処分する場合は、必ず公的許可を受けている業者に依頼してください。

株式会社 ハウステック

東京都板橋区板橋 3-9-7 板橋センタービル 〒173-0004 Tel.03-5248-5500 www.housetec.co.jp